

【トピックス】 ~ミスベリングインスパイアフォーラム2015 レポート~ ・全世界が注目するというアメリカオレゴン州ポートランドの街づくりとは。

ポートランドから日本の水辺のヒントを

■ポートランドの魅力とは

アメリカオレゴン州ポートランド。40年前は川の汚染など深刻な問題を抱えていた都市だったそうですが、今や全米で最も住んでみたい街と言われています。人口は約60万人にもかかわらず、移住する人が絶えないとのこと。

ポートランド市開発局の山崎氏からは、ポートランドでは地域連合(日本で言うと町内会のようなイメージ)が街づくりの計画から街の使い方までの権限を持っている構図を説明。町内会が役人のような役割を一部担っているという訳です。

また、ポートランドに精通する吹田氏((株)アーキネティクス 代表取締役)、松本氏((株)高い創造研究所代表)または、現地を取材したミズベリング事務局から様々なキーワードで魅力を紹介されました。

共通することは、コンパクトな街で生活することで様々な分野の人が混じり合うチャンスが増え、それが触媒のように働くことで、人々に前向きの連鎖が生まれるという点。人々のモチベーションが落ちないから持続的に街づくりが進むといえます。

■ポートランド式のワークショップから東京の街を創造

例えば、魅力ある川づくりを考えるときに、川の空間だけでイメージしがちになります。ポートランドから来日したスペシャルチームは、川を考えるときに流域単位で広くとらえる必要性を強調していました。

東京の水辺を中心として街を創造するワークショップでは、各テーブルで生み出されたアイデアをポートランドチームがまとめ、絵にするやり方がとられました。



ポートランドへの移住は若者だけでなく50~60歳代も多い



ポートランドでは環境や生物多様性に関しても意識が高い



各テーブルのアイデア



ポートランドスペシャルチーム



ミズベリング事務局「川ろうぜ」ポーズ



山名さんと藤井さんのやりとりはいつもおもしろい。今度はミズベリング大学構想？

みんなで「川ろうぜ！」
という雰囲気でも盛り上がりました。

■ミズベリング縁(えにし)に入って島根の水辺をもっと盛り上げよう。

水辺が好きな人、楽しみたい人、新しいことにチャレンジしたい人などなど、お待ちしております。

活動内容はFacebookで検索！



ミズベリング縁



■お問い合わせは、お気軽に出雲河川事務所計画課(0853-20-1761)まで